

「道の日」のボランティア

空き缶拾いにガードレール清掃

8月10日、長島町建友会（福山義弘会長）が道の日にあわせてボランティア作業を行いました。

このボランティア作業には、35社から65人が参加し、出発式のあと、町内主要道路一円の空き缶拾いを実施しました。

また、建設業組合出水支部青年部による県道葛輪瀬戸線川床赤崎間のガードレール清掃も実施されました。

当日は、日差しが強い一日となりましたが、多くの空き缶が集まり、主要道路の景観向上に寄与しました。



↑青年部によるガードレール清掃

移動型バスミュージアム

モビウムがやってきた

8月21日、文化庁メディア芸術祭 鹿児島展の関連ワークショップとして、移動型バスミュージアム「MOBIUM (モビウム)」が長島町に来ました。

大型バスをベースとしたモビウムは、さまざまな地域・場所を移動しながら、環境音や環境光など、場所特有の情報を取り込み、動画や音楽へ再構築して見せる実験場であり、ミュージアムとなっています。

この日は、太陽の光で動く楽器を作るワークショップを開催。児童ら20人が参加し、ソーラーパネルや回路を繋いで、太陽光で動く楽器を作り、電気や回路の仕組みを楽しみながら学んでいました。

モビウムの運転手でありアーティストの河村陽介さんは「モビウムの運営を始めて10年目となる。もともと、フィールドワークが好きで、それで得たものを皆に提供できたら」と話しました。



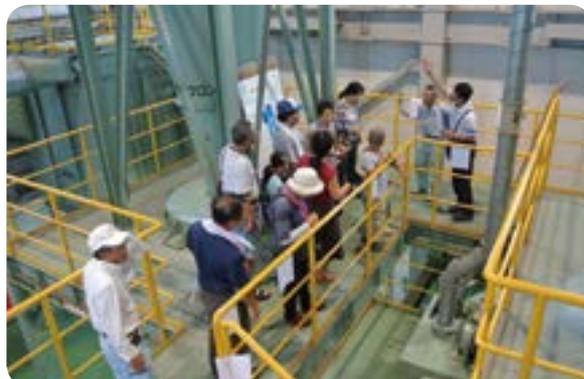
↑外装が黒板に加工されているモビウム号

エコリア北薩リサイクル祭り

もったいない再確認

リサイクルセンターエコリア北薩では、7月13日から8月2日の間、リサイクル祭りが開催されました。通常の見学に加え、最終日には普段は見るできない破碎設備等の見学があり、来場者は、ごみ減量やリサイクルについて理解を深めていました。

また、修理再生された自転車や家具などの抽選会や衣類、書籍などの無料頒布などもあり、多くの人でにぎわいました。



↑普段は見ることも出来ないバックヤードツアー